

第1章

町の概要

1 位置・地勢

本町は、鹿児島県の北西部（北緯 32 度 11 分、東経 130 度 10 分）に位置し、面積 116.12 平方キロメートルの町です。北緯 32 度 11 分 6 秒に位置する長島町を基点に鹿児島県は 600 キロメートルも続きます。県の最北端・長島町の海は限りなく青く、限りなく明るい光が降りそいでいます。長島本島、伊唐島、諸浦島、獅子島ほか大小 23 の島々が点在し、豊かな自然と温暖な気候の中で、人々のうるおいのある暮らしが息づいています。

地質は天草諸島にも見られる白亜紀後期から古第三紀にかけての地層群が基盤となっており、この上に鮮新世に活動した肥薩火山群の火山噴出物が積み重なっています。火山噴出物は島の大部分を覆っており基盤地層が地表に露出しているのは北端部海岸沿いのみです。火山噴出物の下層は凝灰岩、上層は安山岩または輝石安山岩から成っており、侵食が進んでいるため火山の原形を留めておりません。長島北部には北東から南西方向に長島断層と呼ばれる断層群が走っており、断層に沿って島全体が隆起し侵食された後に沈降したことでリアス式海岸が形成されました。

島の西岸は東シナ海、北岸および東岸は八代海に囲まれており、南端部は幅約 300 メートルの黒之瀬戸で九州と隔てられており、対岸の阿久根市との間は黒之瀬戸大橋で結ばれています。北西に長島海峡を隔てて天草下島を望み、島内の蔵之元港から熊本県天草市の牛深港まで三和商船のフェリーによって結ばれています。

地理的には、暖流に洗われる温暖な気候で、北東部海岸沿いの北方崎にはヘゴ自生地があり鹿児島県の天然記念物に指定されています。また、古くから柑橘類の栽培が盛んであり、日本で最初にウンシュウミカンが栽培された場所として知られています。島の北西部はリアス式海岸で多くの入り江があり漁港として利用されてきました。

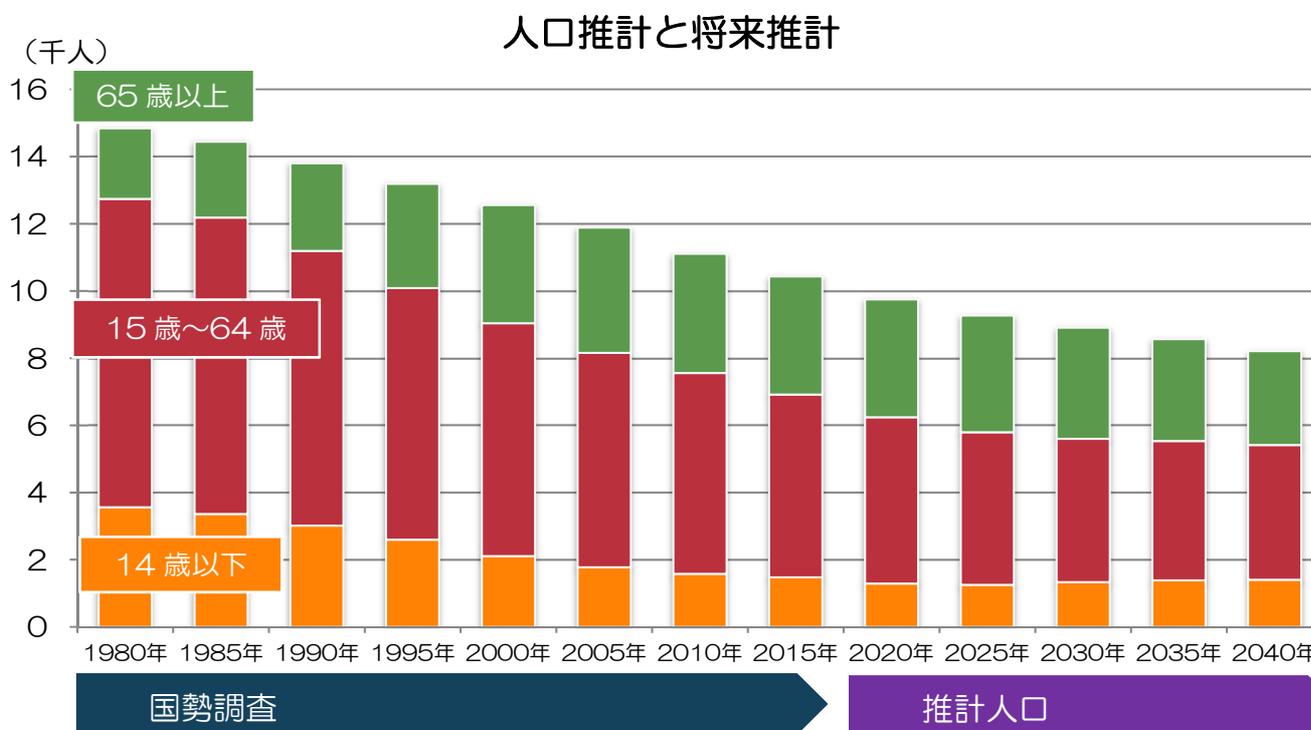


2 人口の動向と将来予測

(1) 人口の動向と将来予測

人口は減少を続けており、平成27年(2015年)から平成52年(2040年)までの今後25年間で、約21%減少する見込みです。

年	14歳以下 (年少人口)	年少 人口率	15~64歳 (生産年齢人口)	生産年齢 人口率	65歳以上 (老年人口)	老年 人口率	総人口
2010年	1,581人	14.2%	5,974人	53.8%	3,550人	32.0%	11,105人
2015年	1,475人	14.2%	5,438人	52.1%	3,518人	33.7%	10,431人
2020年	1,291人	13.2%	4,950人	50.8%	3,503人	36.0%	9,744人
2025年	1,253人	13.5%	4,539人	49.0%	3,474人	37.5%	9,266人
2030年	1,332人	15.0%	4,267人	47.9%	3,308人	37.1%	8,907人
2035年	1,383人	16.2%	4,150人	48.5%	3,029人	35.3%	8,562人
2040年	1,405人	17.1%	4,008人	48.9%	2,793人	34.0%	8,206人



(資料: 総務省 国勢調査、長島人口ビジョン 長島版総合戦略)

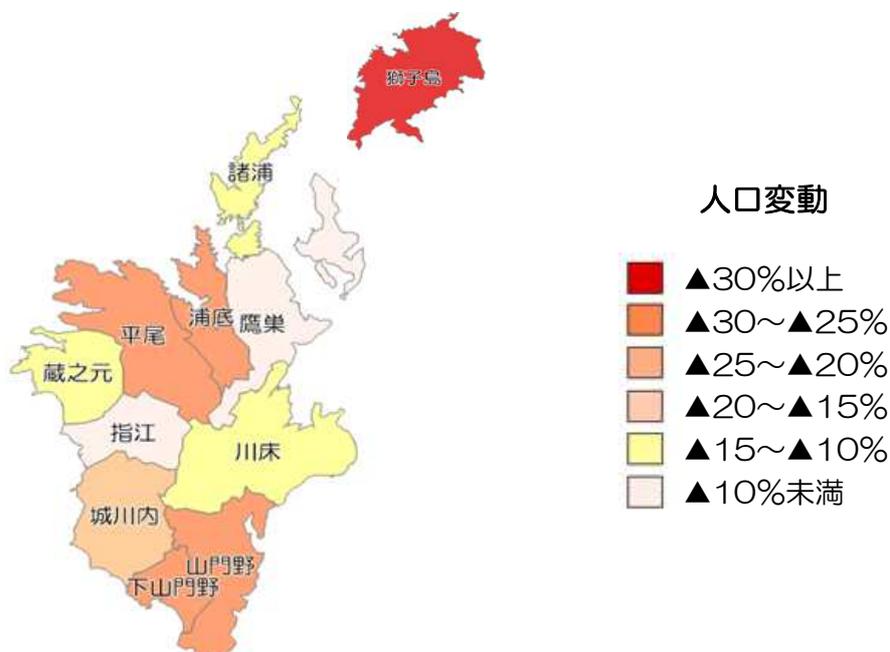
(2) 地区別人口

地区別の人口推移をみると、鷹巣地区に最も人口が集中しており、平成22年（2010年）時点で全人口の17%を占めています。平成7年（1995年）から平成22年（2010年）の15年間で人口変動をみると、鷹巣地区、指江地区では人口の減少は緩やかですが、獅子島地区、浦底地区などで人口が大きく減少していることがわかります。

地区	H7 人口(人)	H7-H12 変動率	H12 人口(人)	H12-H17 変動率	H17 人口(人)	H17-H22 変動率	H22 人口(人)
山門野	1,277	▲8.5%	1,168	▲8.8%	1,065	▲6.0%	1,001
川床	1,388	▲0.6%	1,379	▲6.8%	1,285	▲4.1%	1,232
鷹巣	2,095	▲2.8%	2,036	0.6%	2,048	▲4.6%	1,954
浦底	942	▲7.2%	874	▲6.1%	821	▲10.6%	734
諸浦	953	▲5.7%	899	▲1.6%	885	▲5.4%	837
獅子島	1,082	▲9.3%	981	▲13.3%	851	▲11.0%	757
平尾	1,884	▲8.3%	1,728	▲4.1%	1,658	▲9.8%	1,495
蔵之元	1,126	▲3.2%	1,090	▲5.0%	1,036	▲6.0%	974
指江	814	▲0.2%	812	1.1%	821	▲5.4%	777
城川内	952	▲1.1%	942	▲7.0%	876	▲8.1%	805
下山門野	672	▲4.3%	643	▲4.8%	612	▲11.9%	539
計	13,185	▲4.8%	12,552	▲4.7%	11,958	▲7.1%	11,105

人口の変動状況（平成7年～平成22年）

（資料：総務省 国勢調査）

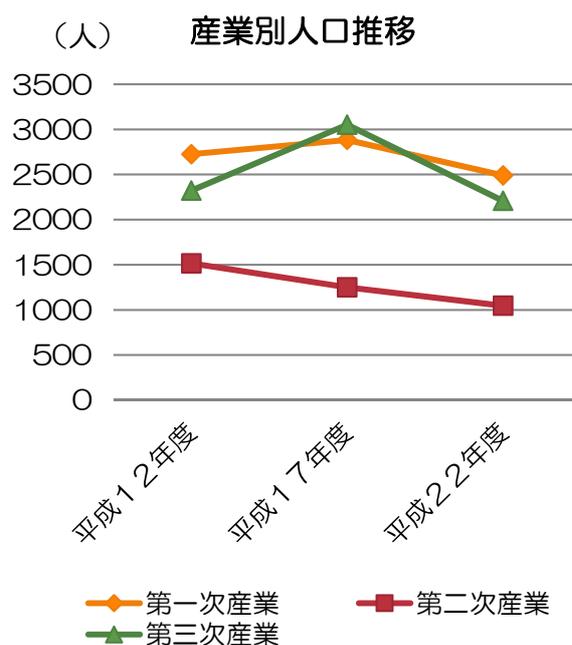
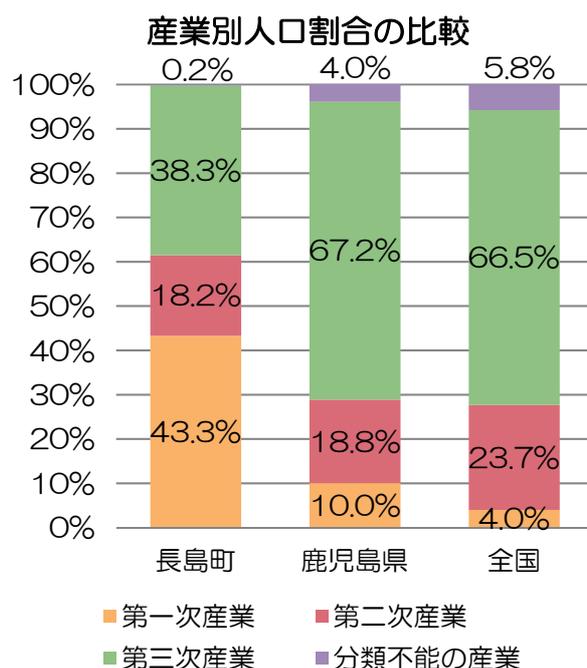


3 産業

平成22年度の国勢調査の結果より、第一次産業の割合が43.3%、第二次産業の割合が18.2%、第三次産業の割合が38.3%となっています。全国、鹿児島県と比較して、第一次産業の割合が高いことがうかがえます。

産業別人口推移をみると、どの産業人口も減少傾向にあることがうかがえます。

分類	就業者数(人)
第一次産業	2,490
農業、林業	1,627
漁業	863
第二次産業	1,046
鉱業、採石業、砂利採取業	-
建設業	455
製造業	591
第三次産業	2,208
電気・ガス・熱供給・水道業	14
情報通信業	4
運輸業、郵便業	182
卸売業、小売業	468
金融業、保険業	54
不動産業、物品賃貸業	6
学術研究、専門・技術サービス業	23
宿泊業、飲食サービス業	145
生活関連サービス業、娯楽業	102
教育、学習支援業	134
医療、福祉	555
複合サービス事業	154
サービス業 (他に分類されないもの)	121
公務 (他に分類されるものを除く)	246
分類不能の産業	9
総数	5,753



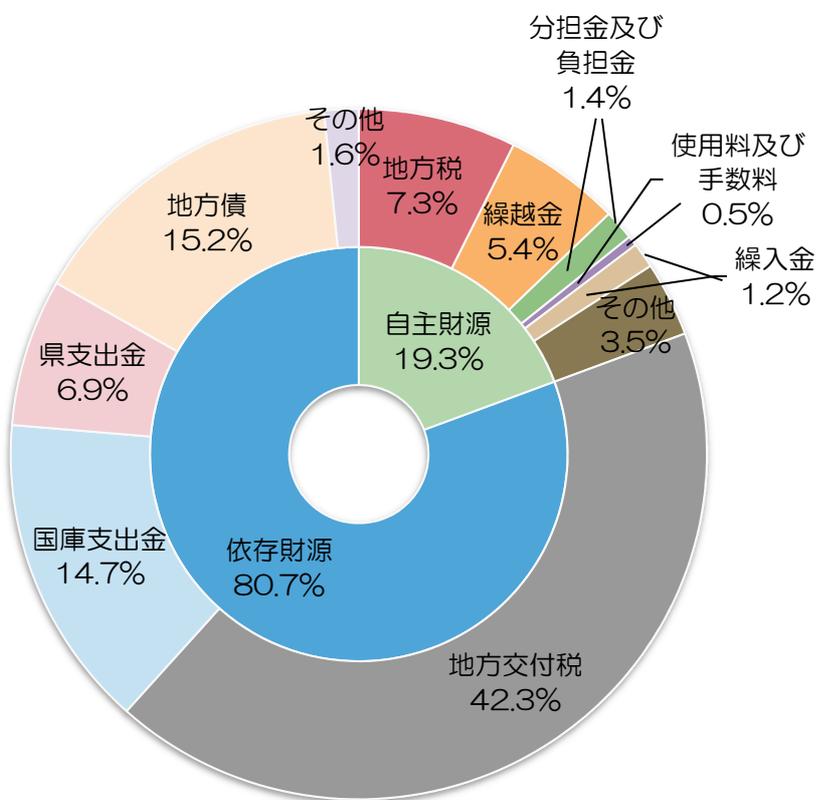
(資料：総務省 平成22年度国勢調査)

4 財政状況

(1) 平成 26 年度決算の状況

平成 26 年度決算カードより、本町の財政状況を見てみると、歳入約 115 億円のうち、地方交付金、国庫支出金、都道府県支出金等の依存財産が全体の約 80%を占めています。

歳入決算の内訳 (単位：千円)	
区分	平成 26 年度 決算額
自主財源	2,221,739
地方税	844,049
繰越金	622,435
分担金及び負担金	163,688
使用料及び手数料	52,244
繰入金	137,205
その他	402,118
依存財産	9,276,115
地方交付税	4,864,157
国庫支出金	1,692,574
県支出金	794,034
地方債	1,741,300
その他	184,050
歳入合計	11,497,854

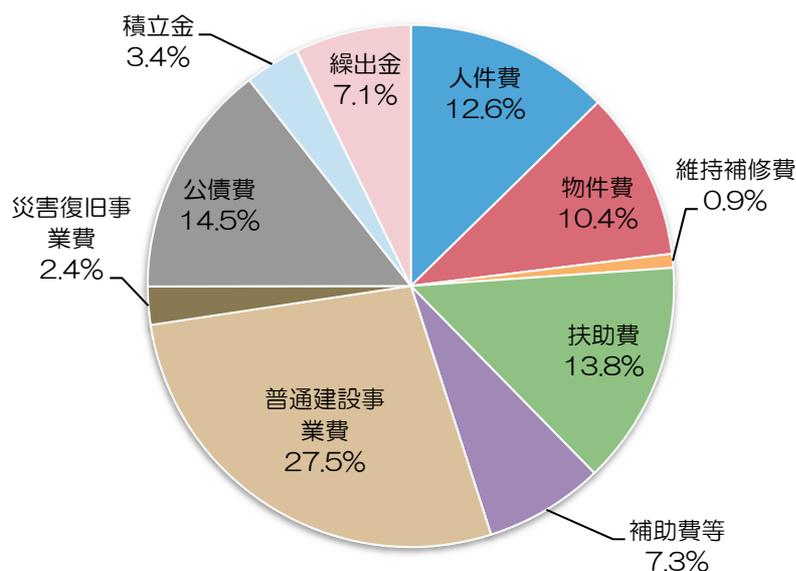


(資料：平成 26 年度 長島町決算カード)

歳出約 106 億円のうち、性質別に見ると、普通建設事業費の割合が最も多く、目的別に見ると、民生費の割合が最も多く占めています。今後は、少子高齢化に伴って、性質別では扶助費、目的別では民生費の割合がさらに増加していくと見込まれます。

性質別の区分（単位：千円） （何の費用として使ったか）	
区 分	平成26年度
人件費	1,335,018
物件費	1,106,480
維持補修費	91,625
扶助費	1,465,659
補助費等	779,104
普通建設事業費	2,919,532
災害復旧事業費	250,470
公債費	1,537,684
積立金	356,259
投資・出資金・貸付金	3,900
繰出金	755,343
歳出合計	10,601,074

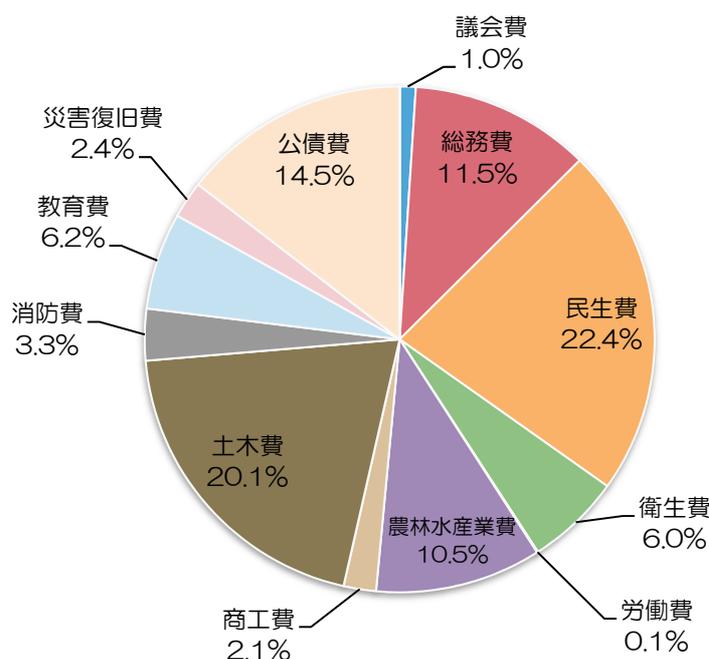
性質別グラフ



（資料：平成 26 年度 長島町決算カード）

目的別の区分（単位：千円） （どの分野に使ったか）	
区 分	平成26年度
議会費	107,797
総務費	1,215,201
民生費	2,371,657
衛生費	638,554
労働費	7,397
農林水産業費	1,116,495
商工費	217,821
土木費	2,133,273
消防費	349,498
教育費	655,227
災害復旧費	250,470
公債費	1,537,684
諸支出金	0
歳出合計	10,601,074

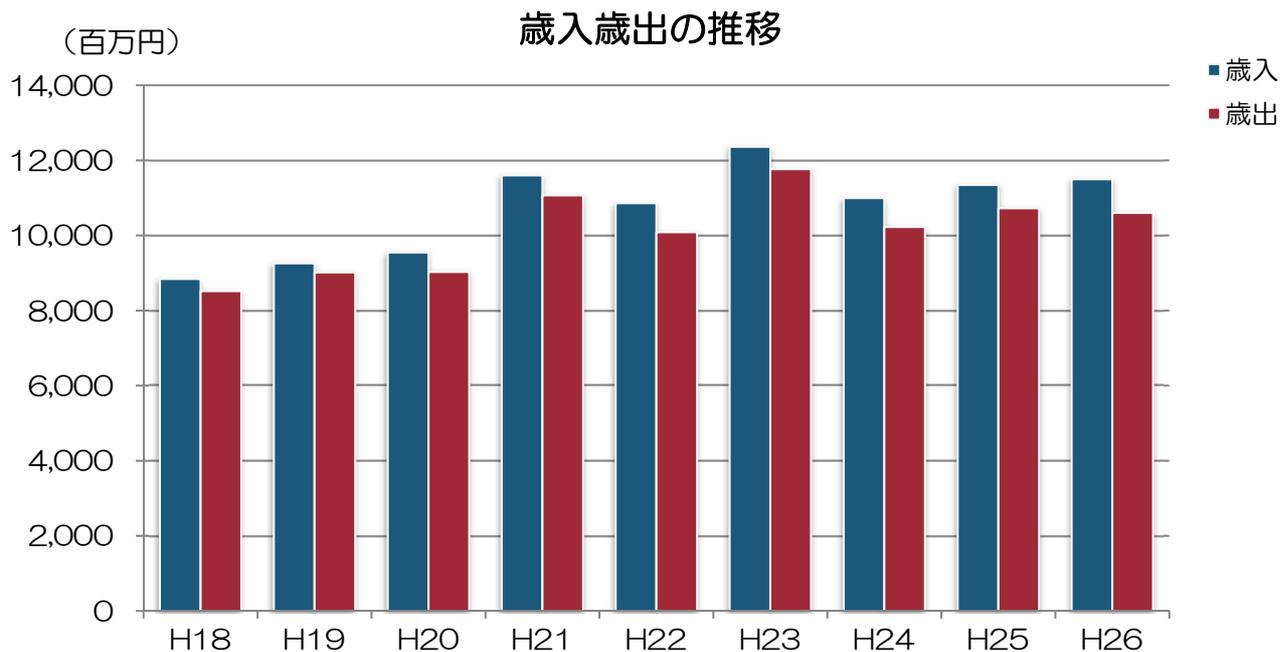
目的別グラフ



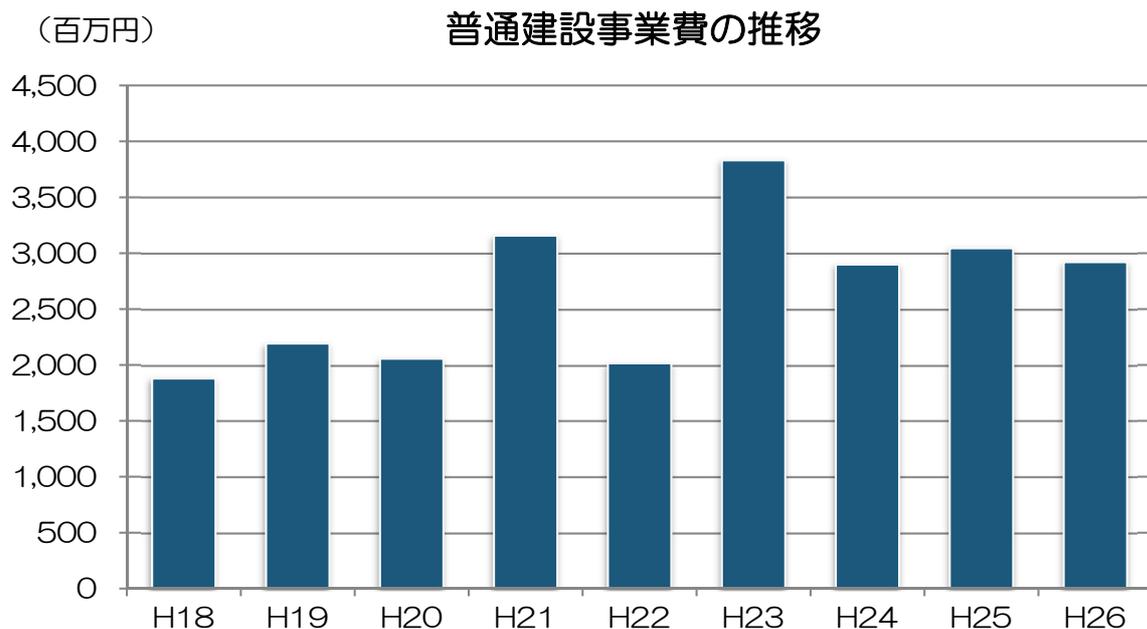
（資料：平成 26 年度 長島町決算カード）

(2) 財政状況の推移

歳入歳出の推移をみると、近年は110億円前後で推移しています。歳出のうち、普通建設事業費は約30億円前後で推移しており、歳出の約28%を占めています。



(資料：平成26年度 長島町決算カード)



(資料：平成26年度 長島町決算カード)